

Campus Today



全員陰性！COVID-19抗体検査を全学実施

学生・職員の発症と免疫獲得有無を調査

本学は5月11日（月）から28日（木）にかけて、全職員・学生1146人を対象に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）抗体検査を実施し、全員が陰性と判明した。この結果を受けて6月1日（月）からは歯学部・衛生学院の対面授業を開始する方針で、感染予防対策を継続していく。

本学に在籍する学生が年間を通して勉学を行う健全な身体状態を判断することは、学校教育法上必要である。昨今のCOVID-19の感染拡大は教育現場における集団行動の中止を余儀なくしている。その打開策として、学生および職員（関連企業職員等を含む）合計1146人を対象に5月11日からCOVID-19抗体検査が実施された。抗体検査は、ウイルスから体を守るために作られる抗体が血液中にあるかを調べる検査で、感染の有無を判別する。PCR検査が4～6時間かかるのに対し、少量の血液を採取して検査キットに滴下すると約10分で結果が分かるため、感染の実態を把握するのに役立つ。自治体や大病院でも導入する動きが出ている。厚生労働省は6月から東京・大阪・宮城の3都府県で大規模な抗体検査を実施すると発表した。そうした状況下で本学がいち早く抗体検査を導入した目的は、現時点にお



学生ホールでCOVID-19の抗体検査を受ける歯学部学生



抗体検査キットで感染有無を判別

ける本学学生・職員のCOVID-19の発症と免疫獲得の有無を調査し、この結果をもとに、講義・実習（臨床実習を含む）などの実施および病院における診療従事者配置の判断の根拠となる感染リスクの基礎データ解析を行うことである。

実施にあたっては、松本歯科大学研究等倫理審査委員会における審査（研究課題「松本歯科大学学生および職員におけるCOVID-19抗体獲得状況調査」）を経て、川原一祐学長の許可を受け、前島信也病院長の下で全職員・学生の協力を得た。検査対象は、大学病院医療職員（医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士など）283人、大

学職員（医療職員以外）および関連企業職員等227人、歯学部および大学院の学生536人（台湾・韓国からの留学生175人を含む）、衛生学院学生100人の合計1146人。検査は、COVID-19にみられる臨床症状（発熱、咳嗽、咽頭痛、強いだるさ、呼吸困難、嗅覚・味覚異常、頭痛、筋肉痛症状）を呈していない者を対象とするが、それらの症状を有する学生・職員は認められなかった。COVID-19に感染すると3～8日で前期抗体（IgM）が陽性となり、8～15日でIgMと後期抗体（IgG）の両方の抗体が陽性となる。以後、既感染状態へ推移していくにつれ、IgM抗体が陰性化し、IgG抗体は長期にわたり陽性を保持する。今回の検査の結果、全職員および関連企業職員、学生において両抗体ともに陰性と判明した。今後、引き続きの感染防止策の徹底が望まれる。検査に先立ち、学生に対する

抗体検査説明会が学年ごとに体育館で行われたが、入場の際には検温が行われ、出入口や窓を開放して換気し、学生間も2メートルのソーシャルディスタンス（社会的距離の確保）を保ち、学年ごとの説明会が終わるたびに座席の消毒を行うなど徹底した感染予防策がなされた。第6学年は5月15日（金）に抗体検査を実施し、全員が陰性と判明したことから、20日（水）には1期試験が行われた。その



感染予防策を徹底した体育館での抗体検査説明会

際、学生は3会場に分散して3密にならないように配慮した。COVID-19の地方都市における潜在的感染状況のデータは未だ存在せず、本結果は国ならびに地域行政機関の本症の感染対策に対して有用な情報提供であり、29日（金）には記者発表が行われた。この抗体検査の結果とともに、大学全体として徹底した抗体検査を行った意義ならびに本学の感染予防対策について報道関係者に説明がなされた。

抗体検査は感染から一定期間が経過しないと陽性反応が出ないため、リアルタイムの感染有無を調べられず、完全な精度を有するものではないが、PCR検査と使い分ければ感染拡大防止に効果的だとされる。

本学病院来院患者への抗体検査の導入も計画中であり、さらに検査数を増加させることにより詳細な解析を行いたい。未解決な問題が多い病原体であるため、今後も気を緩めずに感染防止策を遂行していく。

（歯学部長・学生部長 宇田川信之）

新型コロナ関連 大学へのご支援 学生支援にコメ270キロ 病院にフェイスガード200個

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、本学では授業開始の繰り下げやオンライン授業への移行、病院においてはトリアージを実施し緊急性の低い診療を制限するなど、感染防止に向けた措置を講じている。教育や診療に深刻な影響が及ぼされているなか、学生や医療従事



本学からの感謝状を手にする福島氏（左）と吉田君

学生支援にコメ寄贈

塩尻市片丘にて農業を営まれている福島和義氏から、外出を自粛している本学学生に対してお米270キログラムが寄贈された。

福島氏は農業を使用しない有

者を応援したいとしてお米やフェイスガードといった温かいご支援が届いた。

医療従事者を応援

大北歯科医師会の高橋京子会長および佐藤 悟先生（10期生）らが呼びかけ人となり結成された、医療介護従事者応援キャンペーン実行委員会からは、フェイスガード200個が寄贈された。フェイスガードは、多くの市民ボランティアや休校中の中

機農法にて丹精込めて作ったコシヒカリ米を学生支援のために役立ててほしいと、学生代表の吉田拓真君（第6学年）に贈呈された。福島氏は「美味しいお米を食べて立派な歯科医師を目指してください。七分づきほどで精米するのがおすすめです」と話され、吉田君は「温かいご厚意に心から感謝します」とお礼を述べた。



寄贈のフェイスガードを着けて診療

学生および企業・行政機関の協力を得て製作されたもので、「地域住民の健康と安心を守ってくださりありがとうございます」「ご自身の体も大切にしてください」「い」など心温まる応援メッセージが添えられていた。

最前線で新型コロナウイルス感染症と戦っている方々を励ましたいとの趣旨を生かすためにも、安全と質の高い医療を提供し続け、地域貢献を果たしたい。

名画で楽しむギリシア神話〈36〉

オデッセイア ⑫

ペネロペイアは女神アテナの計らいで、居館の二階で熟睡させられていたが(図1)、老女エウリュクレイアによってたき起された。「奥様、お目覚めになつてください。オデッセウス様がおかえりになりましたよ。そしてあの無法な求婚者たちをすつかり成敗なされました」

「お前は気でも狂つたのか。久しぶりでぐつぐつと眠っていたのに。そんなばかばかしい話で騒ぎ立てるのなら、とつとと出て行きなさい」

「本当に旦那様が帰国されたのです。テレモコス様もご存じでしたが、求婚者たちに気づか

れないように神様が姿を変えてくださったのです。昨夜お話をなさったあの他国者がそうだったのです」

まだ信じられない。「あの年取った乞食男が？」

「では、証拠をお話ししましう。私があの他国者の足を洗ったときに、古い傷跡に気づきました。オデッセウス様がかつてイノシシにつけられた傷に間違いありません。でも、旦那様は求婚者たちを始末するまでは、奥さまにも絶対に話すなど、固く口止めされたのです」

さらに、老女は広間での殺戮やその後の屋敷の清めなどを話



図2 Deminico Beccafumi : Penelope



図1 Jules Cavelier : Penelope Asleep

し「旦那様がお待ちですよ」と彼女を階下へと誘った。見覚えがある乞食姿の男が立っていた。よく見るとやせた年寄りだったはずが、たくましい中年男に変わっている。これがずっと恋い焦がれていた夫なのだろうか。二十年前の面影があるような気がするが、まだ完全には信じきれ

ない。果然として立ちすくんでしまった(図2)。

傍にいたテレモコスは「さんざん苦勞を重ねて、ようやく家

に帰ってきた夫を迎えたというのに、母上は石のように固まって近寄ろうともしないのですか」と、焦れている。

ペネロペイアは弁解した。「せがれよ。私の心は驚きで痺れてしまつて、まともに顔を見ることも話しかけることもできなくなっているのです。夫と二人だけしか知らない秘密を語り合えるまでしばらく時間をください」

オデッセウスはにやりと笑つて息子に告げた。「お前の母の気持ちにはよく分かる。あわてることではない。まずは私の身繕いをして、のんびりと落ち着いてから語り合おう。それよりも、求婚者たちを殺戮したことで、彼らの親族の復讐に備えなければならぬ。そのためには時間も必要だ」(つづく)

(笠原 浩

の早期発見、重症化防止ならびに医療費抑制の観点からも極めて社会的貢献度の大きな施策である。当院の「歯科ドック」は、疾患発症のリスク診断と予防対策を組み合わせた予防型医療を特徴とする。「齲蝕」「歯周病」「粘膜疾患」「咬合障害」「口腔フレイル」などの生活習慣やストレス、加齢からくる口腔疾患を対象として、見つかったハイリスクに対する生活習慣改善や定期的なメンテナンスを一体化した予防歯科機能を備えている。歯科ドックと連携したメニューとなつていて、受診者は全身ドックとあわせて診療回数や時間を短縮することができ、効率良く歯科ドックを受けることができる。

また担当スタッフの教育においては、生活習慣病に対する歯科関連項目への専門性を向上させ、特に若手の歯科衛生士育成に注力して健康管理への歯科衛生士の関与を強めていくことを目指している。

この新しい歯科ドックは病院

中村浩志教授の研究成果を特許登録 小児専用マウスガードに関する発明

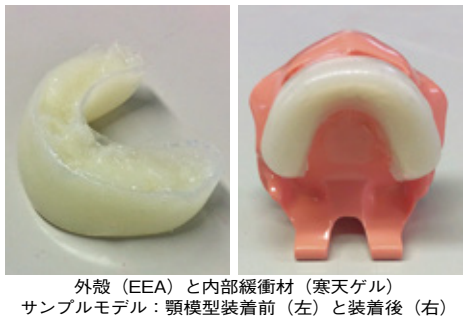
3月13日(金)、本学と株式会社ダイワ(松本市)が共同出願した小児専用マウスガードに関する発明が特許登録されました。開発の背景には、子どもたちの屋内外での外傷による歯の脱臼・破折・喪失による外来受診小児の増加があります。

近年、子どもの数の減少に伴い、社会においては、子ども一人ひとりへの注意と関心が以前より高まっています。これに伴い、子どもの健康維持・管理には、より高いレベルの質が要求されるようになってきました。

特に成長発育途中の小児における体力維持と管理が重要視され

2階の特別専門外来(口腔健康

(健診センター 教授 川原 一郎



外殻 (EEA) と内部緩衝材 (寒天ゲル) サンプルモデル：顎模型装着前 (左) と装着後 (右)

ており、さまざまなスポーツ活動や運動も多岐にわたり、それに伴って口腔外傷の重篤度は重症傾向にあります。

病院だより vol.21

シリーズ 専門性⑩ 歯科医科連携診療部 健診センター

健診センターでは、健康ドック、近隣の企業の定期健診や本学の職員健診、特定健診(別名メタボ健診)などを行っております。ここ数年、健診・ドックに対する認知度が向上し、健康への関心が高まっています。当センターにおいても受診者が増え、日々忙しくしています。

中でも健康ドックの受診者が増加しており、当センターでは通常の健診で行う身体測定や視力・聴力検査、血液検査、心電図や胸部X線検査などのほかに、受診者のニーズに応える豊富なオプション検査を用意しています。消化器専門医による胃内視鏡検査、放射線技師による胃バリウム検査、臨床検査技師による超音波検査、眼科の先生の協力のもと眼底検査、歯科の先生方にも協力していただき歯科検診も行っております。とりわけ歯科検診に関しては、他施設にはあまりない当センターの特徴です。また脳・血管検査を中心に行う脳ドックも可能です。さらに、以前は近隣の病院や専門

口腔周囲の硬組織・軟組織歯の破折や脱臼においては、乳歯、永久歯問わず抜歯が余儀なくされることも少なくありません。そのため口腔周囲の外傷予防を目的として、9年ほど前からダイワとともに、プラグマティックで安全な小児用マウスガードの開発に取り組んできました。



健診センターのスタッフ一同

クリニクにお願いしていたマンモグラフィを使った乳房検診、婦人科検診も当院で行えるようになり、女性の受診者から好評を得ております。

メタボリック症候群や生活習慣病のある受診者には、看護師や栄養士が保健指導をしています。受診者の待ち時間をなるべく短く、それぞれの診察や検査がスムーズに行えるよう、事務スタッフが臨機応変に誘導し応対します。こういったそれぞれの分野のスタッフの専門性を集約し、受診者の体の状態を分かりやすく情報提供しています。

今後ますます専門性を高められるよう、スタッフ一同努力していきたいと思っています。

MTBペダリング 随想記



元シドニー五輪日本代表 鈴木 雷太

緊急事態宣言も解除されて、人々の動きがコロナ禍以前に戻ろうとしている。道は車が徐々に増え、夜も明かりが灯される店が出てきて人も見かけるようになってきた。しかし同時にまだまだ警戒する動きもあり、今後の見通しは立っていない。

仕事や学校は、リモートワークや三密を避ける動きを取り入れられた。在宅ワークや時差出勤などこのまま定着する会社も出てくるだろう。また水産業や農業などの「救済キャンペーン」を謳ったインターネット販売も盛んに行われている。企業が商品を直接消費者に提供するB to C (Business to Consumer) が助長された結果、一部で流通にも大きな変化が出てくること予想される。今までに戻ろうとする動きは、実は「新生活様式」といわれる新しい形となり社会全体が大きく変化した。高校野球も中止が発表され、各県が独自の大会開催に向けて知恵と意見を出し合っている。五輪も延期となったが、やっと9月以降の国際大会の新しいスケジュールが発表され、欧州遠征の準備を急ピッチで進めている。今の世界的情勢を考えると予定通り行われるかは疑問でもあるが、開催されることを信じて準備をしっかりと行うしかない。

こういった不安や不信任も今回のコロナ禍の影響であるが、今までの普通がそうではなく新たなことを認識して、新時代の幕開けの中で、より大きなチャンスをつかめるよう思考とフットワークを常に軽くしておきたいものだ。

口腔管理から生活習慣病対策へのアプローチ 歯科専門ドックコース「歯科ドック」新設



歯科ドックの開始にあたり入念なミーティングを行うスタッフ

4月より組織改編された、松本歯科大学病院歯科医科連携診療部の健診センター・健康づくりセンターに、歯科専門のドックコース「歯科ドック」が新設された。大学病院として地域住民に提供する歯科専門健康管理体制の向上を図ることを目的と

病気になる前にそのリスクを発見して予防することは、疾患



コロナ禍で静寂のキャンパス

咲き誇るヤエザクラ

新型コロナウイルス感染拡大により、県内でも外出自粛や県域をまたいだ移動自粛の要請を中心とした措置が実施されている。桜の名所で知られる本学キャンパスには毎年県内外から多くの見物客が訪れるが、コロナ禍の大型連休に目立った人影は無かった。静寂に包まれたキャンパスではヤエザクラが静かに咲き誇り、コロナ終息が待たれる自粛の春となった。

自粛の春（5月1日撮影）

例年にない静かなキャンパスでひっそりと見頃を迎えた病院前のヤエザクラ。



昨年との比較（2019年5月2日撮影）
昨年の同時期は家族連れなど大勢の見物客が花見を楽しんでいた。

本学のヤエザクラ紹介

本学キャンパスに植樹されている多種多様なヤエザクラの一部をご紹介します。楊貴妃や御衣黄、鬱金といったお馴染みの品種以外にも、近年の卒業生から寄贈された新しい花が咲いています。また、大学公式ウェブサイトでは「キャンパス桜図鑑」としてさまざまな品種の桜の写真を公開しています。

https://www.mdu.ac.jp/outline/in_the_loop/photos.html



スマホで読み取り

紅枝垂〈ベニシダレ〉



エドヒガンの枝が枝垂れる品種の中で、花が一重咲きで濃い紅色のもの。花色が淡紅色のものは「シダレザクラ」、花が八重で濃い紅色のものは「ヤエベニシダレ」と言う。

松月〈ショウゲツ〉



東京の荒川堤にあった品種で、とくに関東方面に多く栽培される。蕾は紅色、開花した花は白色となり、樹全体が濃淡で彩られる美しい八重桜。28、34、37 期生卒業記念樹として寄贈された。

紅華〈コウカ〉



北海道松前町で「糸括」と「里桜」の一種の交配により育成した品種で花冠の形状からこの名がついた。濃い色の花が多数つき、花期が長い。34、38 期生卒業記念樹として寄贈された。

福祿寿〈フクロクジュ〉



学名の Contorta は「ねじれた」という意味で江戸時代から知られている品種。花卉の形状がねじれるように曲がることから付けられた。34、39 期生卒業記念樹として寄贈された。

手弱女〈タオヤメ〉



原木は古くからさまざまな品種が植えられた京都市平野神社境内にあった。「手弱女」「突羽根」「妹背」「寝覚」は平野神社特有の品種で、観賞価値も高い。36 期生卒業記念樹として寄贈された。

白妙〈シロタエ〉



東京の荒川堤で栽培されていた品種。「アマヤドリ」に非常に近いが花柄が短い。花卉は白色で代表的な白花の八重桜。28 期生卒業記念樹として寄贈された。

Alumni News

松本歯科大学校友会

京都府支部

「鴨の会新年学術講演会」開催 下村太郎先生と榊陽一朗先生が講演

まず、京都府歯科医師会理事（医療管理）下村太郎先生（23期生）による「院内マネージメント（就業規則）」の講演では、2019年4月1日より施行された働き方改革を今後どのようにに歯科医院で取り入れていくべきか？また、就業規則を見直す際にどの部分を見直すべきかポイントについて詳しく解説いただきました。

立春とはいえ寒さまだ去りやらぬ2月1日（土）、京都府歯科医師会口腔保健センターにて鴨の会新年学術講演会が開催されました。

午後3時から5時までの学術講演会では、2本の学術講演が行われました。



京都府支部「鴨の会」会員

午後6時から中京区の河久に移動し懇親会を開催しました。日本では、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。そのなかで施行された「働き方改革」を推進する各種法案は、医療現場でも雇用と働き方とのバランスの兼ね合いからホットな話題であり、懇親会では各医院の実情も交えて講演内容がさらに深められました。

また、「応召義務をはじめとした診療治療の求めに対する適切な対応の在り方等について」のとらえ方も大変勉強になりました。

先輩方や後輩からの話に深く傾くことも多く、話が尽きぬなか、定刻を以てお開きとなりました。

（京都府支部 29期生 新田陽平）

十回忌を迎え 創立者・矢ヶ崎康先生の墓参に集う

4月2日（木）、清々しい早朝、青空が澄み渡る新緑の美しい中山霊園（松本市）に眠る、創立者・矢ヶ崎康先生のお墓に校友会関係有志11人が参拝した。

この日は創立者・矢ヶ崎先生の十回忌にあたる。思い起こせば創立者・矢ヶ崎先生が旅立たれた日は、39期生の入学式当日で新人生は35人であった。この学年は後に歯科医師国家試験の合格率8割を超える優秀な成績を取め、今年の合格率9割に迫る勢いとなった好成績のきっかけとして、多くのOBが全国各地で活躍する流れにつながった。



創立者・矢ヶ崎康先生の墓碑に集う校友有志

（校友会専務理事、2期生）に「岡藤は校歌の意味を理解して歌唱指導ができるのか」と心配して尋ねておられたと後から伺った。

そんなことを知らないこの日の私は、39期生との校歌斉唱の際に創立者・矢ヶ崎先生が式場の後列におみえになるのではと声高らかに唄ったことを懐かしく思い出す。

その校歌「あ、渺々の蒼穹に」は創立者・矢ヶ崎先生の墓石の背面に掲げられており、今では卒業式や入学式に学生有志が率先して歌唱し、校友会総会や各支部会でも唄われている。墓参のたびに校友の無事と母校の発展を慶ぶ創立者・矢ヶ崎先生のお声が聞こえるような気持ちとなるが、この日はさらに特別であった。

今年度は新型コロナウイルスの猛威を鑑み49期生の入学式は中止となってしまうため、新人生、在学生の皆さんと共に校歌を唄う機会が失われたのは残念でならない。

5月から始まった第1学年のオンライン授業ではウェブ講義動画を配信している。私は担当

奈良先端科学技術大学院大学・北川教弘先生 「破骨細胞研究のマイルストーンを 刻んだ研究者による講演」

2月28日（金）、奈良先端科学技術大学院大学の北川教弘先生をお迎えし、総合歯科医学研究所2階セミナー室において大学院セミナーが行われた。

「転写因子NFATc1/NFAT2とSignaling-15/DAP12複合体を介した破骨細胞分化制御機構の解明」という講演タイトルは、まさに破骨細胞の細胞生物学が、モレキュラーバイオロジーの手法で解明されてきた歴史そのものである。

セミナーの前半は、破骨細胞研究者であれば知っておくべきトピックの話から始まった。

RANKL/RANKの同定により破骨細胞分化が自由に行えるようになったのを境に、破骨細胞の中で起こっている現象を、マイクロアレイ解析やプロテオーム解析などの最新の分子生物学的手法で、北川先生は明らかにしてきた。NFATc1は破骨細胞分化において最も重

小児歯科学講座 森山敬太講師 山川祐喜子非常勤講師 小児歯科学会専門医を取得

本学小児歯科学講座の森山敬太講師と非常勤講師の山川祐喜子先生（35期生）が3月1日（日）、公益社団法人日本小児歯科学会の専門医を取得された。



日本小児歯科学会専門医を取得した森山講師

および小児歯科診療の経験有し、2年以上の継続管理を行った10例の症例申請が必須条件となっている。また施行細則に定める条件を満たし、学会参加および学会発表の専門医にふさわしい業績を有することも必要不可欠である。

小児歯科学会では年間30人程度の専門医が承認されているが、と語った。先生方のさらなる活躍と地域医療活動への貢献が期待される。

（小児歯科学講座 教授 大須賀直人）

に報告した。これらの分子は、破骨細胞研究の一里塚と言える重要な発見であり、我々の研究のみならず世界中の骨代謝研究に大いに寄与している。

セミナー後半には、Signaling-15とDAP12が相互に必要十分であることを未発表のデータを含め詳細に示された。緻密に実験を重ね、それを分かりやすく解説された本セミナーを聴講して、若き研究者のみに報告した。これらの分子は、破骨細胞研究の一里塚と言える重要な発見であり、我々の研究のみならず世界中の骨代謝研究に大いに寄与している。

講演される北川先生

新人生へのメッセージ

《校友会入会案内への寄稿から》

新人生の皆さん、入学おめでとう。

よい春を迎えることができ、何よりでした。いよいよ待望の大学生活が始まります。

じっくり己れを見つめ、見いだして行くための最終の学生生活です。

数年前から「学生の学力低下」の問題が叫ばれるようになって来ました。このことについてはいずれゆっくりお話ししますが、すべて戦後の新

教育をねじ曲げてきた日本の大人たちの無責任な所業によるものと思っています。よって

これを取り戻すための終末処理は、最終の大学に於いてできるだけケリをつけるべきが本当かと考えています。

そのためには学生諸君も自分のこととして常に積極的

に協力し、先づ大学を休まないこと、講義はよく聴きノート

の方針にはよく従い明朗に毎日を送ること、本を読む習性を養うことなどでありま

す。諸君の相手になる本学の特

徴の第一は、学長の統轄の下、全教員が優れた研究業績を保

有し若手の研究者にも抜くこと

でた国際的英才が多く、全学

一致して学生の援護のために

協力していると云うことです。

このことは「教育はひとえに愛である」とする本学の伝統に根をおいたものであります。

第二は、環境が日本随一であることです。本学は有名な桜の園。春爛漫を過ぎると青葉若葉に彩られた大樹の森陰に、美しく敷かれた厚き芝生の香り。学生や学外散策人のしばしの憩いと慰めの酸素吸入の場でもあります。

第三に、本学では近年他に例を見ない刮目すべき国際的

大学院が生まれたと云うこと

です。本大学院の研究成果は

既に数年の間に必ず国際的に

高い評価に輝いています。

学年が進むにつれて本学の価値と、自分自身の位置と幸

せが次第に理解されるものと思

います。健康に留意し、ご両親

に心配をかけず、前だけを眺め

憧れに充ちて学んで頂くことを願

いして挨拶とします。

創立者・矢ヶ崎康

（2010年4月2日逝去 享年90歳）

Economic News

内外の経済 5月28日付

▶株価	
日本国	21,916.31円
米国	25,400.64ドル
▶金地金店頭価格（消費税込み）	
売り（1グラム）	6,568円
買い（1グラム）	6,459円
▶白金地金店頭価格（消費税込み）	
売り（1グラム）	3,305円
買い（1グラム）	3,185円

東京外国為替相場と各国定期預金金利 (3カ月物)		
米ドル	108.70円	0.20%
英ポンド	133.73円	0.10%
ユーロ	120.32円	0.01%
スイスフラン	112.71円	0.01%
タイバツ	3.46円	0.01%
日本円	——	0.01%

(SMBC 信託銀行H P等より)

（SMBC 信託銀行HP等より）

6月行事予定

22日（月）
I期試験 第5学年

（退職）
新井 彩（外来看護部室看護師）
4月30日付

（採用）
太田 雅美（病棟看護部室看護師 契約職員）
4月13日付

人事異動